

予算審査特別委員会

着実な成果を求めて

議員全員で構成する予算審査特別委員会（委員長・田辺公教）では平成二十一年度一般会計ほか十八特別会計議案を二日間にわたり審査した結果、十三項目の意見を附して承認すべきものと決した。

【予算審査意見】

- 路線バスとデマンドバスの乗り継ぎは不便のないようダイヤ調整を図られたい。
- 神奈備ふれあい会館の管理運営費については、受益者の応負担等を検討されたい。
- 移住定住化促進については、住居等さまざまな分野から検討し推進されたい。
- 借地料については実勢単価で契約するよう努力すること。
また、借地についてはできるだけ買収するなご解消に努められたい。
- 耐震診断実施設計にあたっては、一括発注ではなく、分割発注にされたい。
- 学校給食会計の見直しの検討結果を早急に示されたい。
- 嘱託職員の雇用条件を明確にされたい。
- 写真美術館の運営方針について早急に結論を示されたい。
- がん検診、住民健診の受診率の向上を図られたい。
- 溝口保育所の進入路並びに駐車場の整備を検討されたい。
- 中山間直接支払い制度を引き続き堅持されるよう関係機関に要請されたい。
- ゴミステーション化の推進を図られたい。
- 清水の里団地について、販売促進強化と所管体制を明確にされたい。

反対討論

幅田 千富美

十八議案中三十二号公園墓地会計以外の議案に反対の立場から討論を行う。

その理由は、暮らしやすい伯耆町へのアンケートでは、生活が苦しくなった方が八割を占めている。一般会計で前年比八億三千万増の六十七億三千万円。特別会計合わせ百億円。合併前比二十億円減が地域経済疲弊の原因だが、増額八億三千万円の大半約五億五千万円が防災行政無線設置である。町民の願いは、アメリカ発大不況から町民生活を守るため、農業、中小零細企業守る予算であるが、妊婦検診十四回に、保育士給与改善、職員配置充足、和牛生産農家支援などわずかなものはあるものの、デジタル化対応など一部の県外大手電気メーカーは潤っても町

内の地域環流にならない。町長公約のとおりに大きな公共事業の前に専門家を加え、町民参加で検討すべき。

賛成討論

野坂 明典

予算審査特別委員会で慎重審議の上了承されたもの。三位一体改革で交付税減額が予想以上。森安新町長の初めての予算、防災行政無線統合事業五億四千四百万円、緊急雇用創出事業千四百万円、妊婦検診委託料五百九十九万円、和牛再生促進事業千八百万円、図書館あり方検討会事業十萬八千円、CATV統合事業一億一千万円の新規事業が組まれ、継続事業で、中山間地直接支払一億一千万円、情報処理事業六千五百九十九万円、基本検診千三百八十万円、小・中学校耐震化事業二千五百万円など計上されている。

学校教育検討委員会で岸本小学校をそのまま、二部日光を溝口に統合、小中一貫校にこの話が進められていたが教育権は国民にあり、やり方含め民主的に。介護、医療、福祉充実農業、中小企業応援こそ景気回復の上からも大切なのに、来る当てのない企業誘致に力を入れるようなことは今すべきでない。国保税、保育料、負担金など減らし、直接町民の懐具合を温める仕事が必要である。

美術館、同和事業、有線テレビ事業や格差のある水道会計を見直し、「水」企業への課税等をすれば、十分な財源が生まれる。税金の使い方、住民の

大森 英一

限られた財政の中、この危機をどう乗り越えるのか。

線統合事業は合併特例債四億円強で、期限つきで致し方ない計上。土地開発公社所有土地の借入利息対策のため三億一千八百万円の一般財源から貸付に。議員定数二名減で六百四十万減額効果など高く評価し賛成する。

長谷川 盟

骨格予算でなく本格予算編成であり、新町長の意欲が伝わり、高く評価する。執行に当たっては、議会審査意見を真摯に受けとめられることを期待し、賛成する。

後期高齢者医療特別会計はいろいろの問題があるが国の制度を受けたもの。老朽化したリフト修繕費は、将来、伯耆町観光の中心としての施設でリフト存続は必要であり修繕しなければ重大な事故発生になりかねないのでこの予算に賛成する。

反対討論で防災行政無